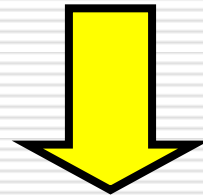


幸せエコ家族 2009

信州大学 SURL

はじめに・・・

子供たちの理科離れ



解決策

- ゲーム性の高いロボットコンテストの開催
 - ものづくりの機会をつくる
-

まずは、プロモーションビデオでゲームの説明を・・・

コンテストのテーマ

- 子供の発想力, 創造力を磨く
 - 子供にとって, 自由度の高いゲーム

 - コミュニケーション能力の向上
 - 講習会による, ほかに子供との交流
-

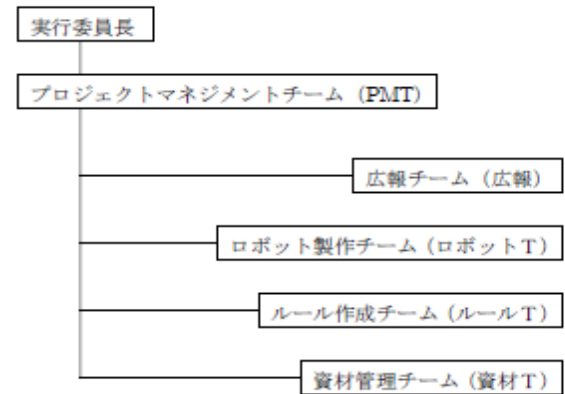
運営目標

「継続した大会の開催を目指す」

- 一度きりの大会では、大きな教育効果は見込めない
 - 全国大会を開催できるような大会にしたい
-

運営 — 全体の流れ —

- 運営のベースとなる組織づくり
- スタッフ会議により、
講習会・大会運営の決定
- 参加者の募集
- 講習会の開催(4回)
- ロボットコンテストの開催
- 大会後のアンケートの実施
- 次回開催に向けて、反省会の実施
- 開催協力を得るための他企業・大学にプレゼン



運営 — 講習会 —

「講習会を開催する目的」

- ロボットコンテストに向けてのロボットづくり
 - 他の参加者との交流
-
- 本コンテストの説明
 - 参加者のグループ分け
 - グループ内での助け合いによる, ロボットづくりを促す
 - 講習会後にアンケートを実施
 - アンケート結果より, 次回講習会に向けて準備
-

運営 — ロボットコンテスト —

- 準備
 - 会場準備(大会本部, コートの設営等)
 - 受付
 - ゼッケンの配布, 車検の実施等
 - 競技開始
 - 閉会式(表彰)
 - アンケートの実施
-

運営 — ロボットコンテスト 終了後 —

□ 反省会の実施

- 講習会・ロボットコンテストのアンケートの結果、スタッフの意見から、良い点・反省点を挙げる
- 次回開催に向けての改善点，継続しておこなうこと，新規導入することについて，話し合う

□ 大会結果の資料を作成

- 子供たちの反応やコンテストのテーマの達成度などをデータ化

□ 広報活動

- コンテスト開催に協力していただける企業，大学を探す
-